

超音波式水中スラッジレベルメータ / 超音波式スラッジ濃度計 / 関西オートメーション(株)

<http://www.kansai-automation.co.jp>

私たちが日々快適に衛生的な生活を送ることができ、河川・海などの水環境を守っている下水道施設。下水道施設では、一般家庭や工場から排出された汚水を処理し浄化している。この下水処理プロセスにおける汚泥レベルや濃度の監視を行うことで、ポンプ運転など設備全般の省エネルギー化やポリマーの使用量の削減などが図られる。関西オートメーションでは、これらを実現するセンサを開発した。以下にこのセンサの特長および仕様を紹介する。

超音波式水中スラッジレベルメータ ENV100 シリーズ

【製品概要】

水中に設置したセンサから発信された超音波が汚泥面に反射し、センサに受信されるまでの伝播時間を距離に換算します。

【特長】

- 連続、リアルタイム計測が可能
- ひとつのコントローラで4センサまで接続可能
- 最大400日分のデータを保存できるロガーを搭載
- オプションのワイヤレスシステムで配線コストの削減が可能
- センサの自動クリーニング機能で、メンテナンスの負荷を大幅低減
- バッテリー駆動のポータブルタイプあり

【仕様】

測定レンジ	0.35 ~ 10 m
分解能	1 cm
精度	± 0.5% FS or 2.5 cmの大きい方
温度	- 10 ~ 60℃
データ保存	400日 max.
画面	数値、エコー、トレンド
表示	レベル、距離、温度、mA、時刻
出力	4-20mA 750Ω max. 3 SPDT (5A AC250V) RS232C (標準) RS485

超音波式スラッジ濃度計 ENV200 シリーズ

【製品概要】

タンクや配管に設置したセンサから発信された超音波が汚泥層により減衰します。この減衰率から濃度変化を換算し出力します。

【特長】

- 連続、リアルタイム計測が可能
- 10,000点を記録するデータロガーを搭載
- 現場に応じた3種類センサ
 - a. スプールピース型
 - b. タンク設置型
 - c. インサクション型

【仕様】

測定範囲	標準：2,000 ~ 200,000 mg/ℓ (0.2 ~ 20%) オプション：2,000 ~ 400,000 mg/ℓ (0.2 ~ 40%)
分解能	100 mg/ℓ (0.01%)
精度	± 0.5% FS or ± 2,000 mg/ℓ の大きい方
再現性	± 1% (F/S)
画面	濃度、温度、mA、時刻、パイプ状況 フロー状況、自己診断など
温度	- 10 ~ 60℃
出力	4-20mA 750Ω max. 3 SPDT (5A AC250V) RS232C (標準) RS485



超音波式
水中スラッジレベルメータ
ENV100

超音波式スラッジ濃度計
ENV200

◆問い合わせ先 / 〒530 - 0056 大阪市北区兎我野町2 - 14 Tel. 06 - 6312 - 2071 Fax. 06 - 6314 - 0848
E-mail : info@kansai-automation.co.jp

その他

関西オートメーション(株)